

【試合結果】

女子決勝トーナメント 準決勝		SB - 1 - TJ
日時	平成19年8月23日(木)	9:30 ~
会場	山形市総合スポーツセンター SBコート	
結果	京都精華女子	埼玉栄
	京都 46	埼玉 56
19 - 12 5 - 8 15 - 15 7 - 21 OT		
審判	主審 蒲 健一	副審 津田 博夫

平成19年度 全国中学校体育大会
第37回全国中学校バスケットボール大会



【個人トータル表】

x = スタートメンバー / = 出場選手 空欄 = 出場なし

京都精華女子		京都					
No	選手氏名	PI-in	得点	3 P	2 P	FT	反則
4	八木 希沙	x	16	4	2	0	2
5	町田 瀬名	x	16	0	6	4	3
6	山口 梨花子	x	6	0	2	2	1
7	中川 優	x	3	1	0	0	3
8	小栗 栖美咲						
9	上島 安紀子						
10	萱野 まほろ						
11	廣瀬 未沙						
12	横澤 瑞希	x	3	0	1	1	0
13	蜂谷 千紘						
14	樋口 真由						
15	山本 千夏						
16	加藤 沙菜						
17	尾崎 愛美						
18	北川 綾華	/	2	0	1	0	0
C	山本 綱義						0
合計			46	5	12	7	9

埼玉栄		埼玉					
No	選手氏名	PI-in	得点	3 P	2 P	FT	反則
4	鶴見 彩	/	20	2	6	2	1
5	斉藤 律	x	12	0	5	2	2
6	永尾 千鶴	x	0	0	0	0	3
7	岸田 実佳	x	8	0	2	4	5
8	稲垣 香奈	x	2	0	1	0	1
9	沢辺 香菜						
10	小櫃 麻衣						
11	北村 美咲						
12	奥野 なな子						
13	小林 絵令奈						
14	小野 やよい						
15	柿沼 かすみ	x	13	0	6	1	3
16	ナウタヴァイ 圭理	/	1	0	0	1	1
17	小林 杏理						
18	町本 和歌子						
C	一ノ瀬 和之						0
合計			56	2	20	10	16

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート FT = フリースロー

【試合レポート】

準々決勝で若水中を下し意気上がる京都精華女子と初出場でベスト4入りを決めた埼玉栄との準決勝。
 1Q立ち上がり両チームともマンツーマンDefでスタート。京都精華女子はDefリバウンドを全員で頑張り、速い攻撃へとつなげる。#5のドライブ、#4の3P、#6のインサイドなどバランスよく攻める。埼玉栄は途中、#4を投入し、立て直しを図り、#15のジャンプショットなどで反撃する。19-12と京都精華女子リードで1Q終了。
 2Q埼玉栄はプレッシャーを強くしDefから攻撃のリズムを作るがミスが続きリズムに乗れない。京都精華女子も埼玉栄を攻めあぐね膠着状態が続く。埼玉栄は#4ジャンプショットや#5から#7へのあわせのプレーなどで追い上げ24-20と差を4点差まで縮めて前半終了。
 3Q立ち上がり京都精華女子は#4の3P、#5のリバウンドなどで7連続得点をあげる。埼玉栄は#4、#6がドライブを仕掛けるが決定力に欠け、得点が伸びない。京都精華女子は#12がOffリバウンドを頑張り、2次攻撃へとつなげる。残り3分、埼玉栄は#5の2本のリバウンドショット、#4の連続3Pなどで徐々に挽回を図る。残り3秒、埼玉栄#4のドライブが決まり39-35と京都精華女子が4点リードのまま3Q終了。
 4Q埼玉栄は#4のスピードあふれるプレイで追い上げを図る。残り6分、埼玉栄#7がファウルアウトになるものの#16がブロックショットなどでその穴を埋める。残り4分、埼玉栄#4から#5のあわせのプレーで逆転。京都精華女子は相手のファウルで得たフリースローを決められず得点が伸びない。その後埼玉栄は運動量が落ちず、#4のセットプレイからのショット、ダブルクラッチからのショット、#15のジャンプショットなどで得点を重ね、決勝進出を勝ち取った。敗れたとはいえ、京都精華女子もスピードあるプレイや最後までボールを追い続ける姿は大変好感が持てた。準決勝にふさわしい熱戦であった。

記録者: 矢口 久